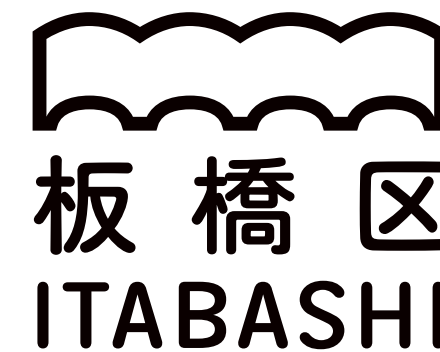




# 令和8年度第2回 区長記者会見



# みんなに かけ橋 いたばし創造都市宣言



板橋区は、区民一人ひとりの創意を原動力とし  
あたたかでやさしいつながりを創り出す  
創造都市 (Creative City) であることを宣言します。

創造都市とは、芸術・文化・デザインなどの  
創造的な活動を、地域の価値創出、課題解決、  
人と人の交流につなげ、その取組を継続する都市です。

板橋区は、その実現のため、  
「絵本のまち板橋」を軸とした活動を進めています。  
これは、絵本の都ポローニャとの交流、  
図書館・美術館の実績、  
印刷・製本などのものづくり基盤を土台に、  
絵本の持つ創造性と寛容性を活かし、  
様々な交流や連鎖を生み出している取組です。

私たちは、デザインを、  
人々の創意や地域の資源の潜在的な価値を誰もが理解し、  
活用していくための知恵、  
人と地域と未来をつなぐかけ橋と捉えます。  
今後もこのデザインの考え方をまちづくりの  
あらゆる場面に応用し、交流・対話を重ねながら、  
持続可能な地域社会を共に創造していきます。

## 1. 人と人との「つながり」を育む

日々の暮らしの中にある一人ひとりの「創意」を尊重するとともに、  
そこで生まれる個性を受け入れる「寛容性」が息づく地域文化を育むことで、  
誰もが社会とのつながりを実感できる包摂的な環境を整えます。

## 2. 人とまち、文化と産業を「つなげる」

「人」と「創意」を起点とし、  
対話を通じて活動を生み出すまちづくりのプロセスを重視することで、  
新たな文化的挑戦を産業振興のみならず、  
地域社会の様々な分野へとつなげる創造の循環を育み、  
持続可能な地域経済の実現をめざします。

## 3. 世界を「つなぎ」、未来をひらく

住民、NPO、企業、団体など、多様な主体が共創する基盤を整え、  
「絵本のまち」を軸とした共感と参画の好循環を創出します。  
このつながりから生まれる発信を国際的なネットワークへ発展させ、  
そのハブとして地球規模の課題解決に取り組みます。

令和8年1月28日 板橋区長

坂本 健

# みんなに かけ橋

## いたばし創造都市宣言

板橋区  
ITABASHI

成果とこれからの取り組み

### いたばし絵本フェスタ

ボローニャ国際絵本原画展の会期に合わせ、区内各地で絵本に関わる企画を同時多発的に展開するイベントを実施する

### 荒川エリア

ITTA KAWAMACHI  
自然体験型アーバンリバーパーク  
防災×にぎわいづくり  
MFLP 板橋ドローンフィールド

### 熱帯環境植物館

清掃工場の排熱を利用

### 旧高七小

いたばし夢企画  
いたばしキッズシンガーズ  
いたばしコミュニティシアター  
「AFIRI(希望)」ダンサーズ

### 加賀エリア

陸軍板橋火薬製造所跡が国史跡に指定  
近代化・産業遺産を保存活用した  
史跡公園(仮称)の整備  
史跡の整備に向けたBIMの活用  
(仮称)産業ミュージアムの整備  
板五米店  
植村冒険館

### 絵本のまちひろば

来場者2万人  
製本会社によるワークショップ  
子どもに寄り添うこころの絵本  
「ぼくとモヤモヤ」関連展示

### 板橋こども動物園

グッドデザイン賞受賞  
キッズデザイン賞受賞  
こども動物クラブ

### 板橋駅

「えんのもり」  
創造・交流拠点  
駅前広場と  
公共施設の一体活用

### 板橋のいっぴん

区を代表する食のブランド  
ふるさと納税の返礼品にも

### DX

いたばしpay  
Tokyo区市町DX Award  
2年連続大賞受賞

### 赤ちゃんの駅

グッドデザイン賞受賞  
キッズデザイン賞受賞

### SDGs未来都市

いたばしさんぽ キッズデザイン賞受賞  
SDGsプラットフォーム  
多様な主体との共創の場  
大学・公民連携推進

### 板橋交通公園

モビリティコミュニケーション  
ブックバス

### 中央図書館

グッドデザイン賞受賞  
サラボルサ児童図書館と  
姉妹図書館締結  
子ども司書

### いたばしボローニャ絵本館

いたばし国際絵本翻訳大賞  
ボローニャ・ブックフェア in いたばし

### つながり

イタリア・ボローニャとのつながり 20周年  
石川県・金沢市とのつながり 17周年  
マレーシア・ペナンとのつながり 31周年

### 美術館

BELCA賞受賞  
ボローニャ国際絵本原画展  
夏のアトリエ/こどもアトリエ

### 上板橋駅

かみいたねプロジェクト  
かみいた人物図鑑

### 教育科学館

STEAM教育

# 目次

## 令和8年度 第2回区長記者会見

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1. 自分で創造するストーリー！「板橋ウィンメルブック」誕生   | 1 |
| 2. モンゴル国とつながるかけ橋！協定締結30周年記念事業を実施 | 3 |
| 3. “創造都市いたばし”の推進！新たなステップへ        | 5 |
| 4. 令和8年度一般会計9月補正予算(案)            | 7 |
| 5. インフォメーション                     | 8 |

# 1. 自分で創造するストーリー！「板橋ウィンメルブック」誕生

## 事業概要

「絵本のまち板橋」を推進する板橋区では、印刷製本業が多く立地する地域特性を活かし、絵本づくりに関するワークショップをはじめとした取組を行ってきました。

この度、地域課題の解決と産業振興を両立する新たな取組として「地域理解促進ツールプロジェクト」を立ち上げ、区内印刷製本業の技術力を活かした地域共創の取組を進めています。

「地域理解促進ツール」を活用し、地域理解の促進や区に対する愛着の醸成、多世代・多文化交流を推進するとともに、区内印刷製本業の新たな事業機会の創出や販路拡大につなげていきます。



## 事業の内容

### 板橋ウィンメルブック（地域理解促進ツールプロジェクト）

「地域理解促進ツールプロジェクト」は、区内の「産業ものづくり」を活かした事業創出の強化を図るため、板橋区の地域資源や産業、歴史、暮らしの魅力を題材にした「地域理解促進ツール」を行政・区民・事業者・学校・クリエイター等が地域の魅力発掘を行いながら一体となって、制作・活用するプロジェクトです。このプロジェクトの第1弾として、「板橋ウィンメルブック」を10月に発行します。

「板橋ウィンメルブック」は、区内印刷製本事業者で構成される印刷分科会が中心となり、大学や小学校での出前授業、区民まつりでのアンケートなどを通して、多くの方々にご協力をいただきながら制作しました。賑わいと歴史、文化が集積する板橋区を舞台に、多様な人々や文化が共存する様子を見開き全7ページに渡って表現しており、奥深い板橋の魅力が多面的に伝わる絵本となっております。

今後、制作過程や活用事例をノウハウとして蓄積し、地域理解や魅力発信に関する課題解決につながるモデルとして「地域理解促進ツール」を他自治体へ展開していくとともに、区内印刷製本業の新たな製品・サービスモデルの開発・発掘により、地域課題の解決と産業振興を推進していきます。

### ウィンメルブック

スイス・ドイツ語圏で愛されてきた、文字のない絵本。ページいっぱいには人や街の様子が細かく描かれており、誰もが自由に物語を創造でき、読み手の数だけストーリーが生まれる魅力があります。



ワークショップを上板二小で実施



区民まつりでアンケートを実施

# 自分で創造するストーリー！「板橋ウィンメルブック」誕生

## 板橋ウィンメルブック見どころ（一例）



### ①植村直己さん

歴史的な大冒険は全て、板橋から出発しました。1ページ目である本ページでは三畳一間の小さいアパートで、旅立ちに向けて英気を養っている様子が描かれています。

### ②渋谷栄一さん

板橋区栄町（旧養育院）にある銅像から抜け出した、渋谷栄一ご本人です。自身の蒔いた種が現代の板橋でどう育っているか視察をしています。

### ③徳川慶喜さん

渋谷栄一の盟友です。好奇心旺盛な渋谷栄一を探す最中にかつて自らが撮影した板橋が、渋谷栄一の尽力でどう発展したかを確認しています。

### ④ハクセキレイ

板橋区の自然を背景に求愛から子育てまでの様子を描いています。1ページ目である本ページでは、二羽が出合い求愛ダンスをしています。

## 今後のスケジュール

令和8年10月

地域理解促進ツール第1弾 板橋ウィンメルブック完成予定

（10月17日・18日開催の区民まつりでお披露目予定）

令和8年度末

地域理解促進ツール第2弾 完成予定

## 主管課・問い合わせ先

産業振興課

## 2. モンゴル国とつながるかけ橋！協定締結30周年記念事業を実施

### 事業概要

モンゴル国と板橋区の交流は、1992年に始まりました。当時、紙不足で困っていたモンゴル国にノートや鉛筆を贈ったことをきっかけに、馬頭琴の演奏会や区民ツアーなど文化交流及び人的交流を発展させてきました。1996年にはモンゴル国文部省（現：教育科学省・文化省）と板橋区との間で「文化・教育交流協定」を締結し、今なお親交を深めています。

今年は、モンゴル国との協定締結30周年を記念し、板橋区役所において、モンゴル国を紹介するパネル等を展示するほか、板橋区立文化会館大ホールにてモンゴル国立馬頭琴交響楽団によるコンサートを実施します。



### 事業の内容

#### モンゴル国の文化や生活を、見て、聴いて体験！

記念イベントではモンゴル遊牧民の伝統的な移動式住居「ゲル」を展示するほか、伝統楽器とオーケストラが織りなす「モンゴル国立馬頭琴交響楽団」のコンサートをお届けします。

30年かけて育んできた友好の「つながり」を、これからの多文化共生と文化芸術のまちづくりへと発展させ、モンゴル国との友好交流促進、区民の国際交流・友好国に対する理解や興味発掘の促進につなげていきます。

#### 【30周年記念イベント】

実施場所：区役所1階 イベントスクエア

期間：10月13日(火)～ 23日(金)

内容：パネル展、モンゴル国生活文化体験(ゲルの展示等)  
モンゴルのお話読み聞かせ、モンゴル文化紹介講座

#### 【モンゴル国立馬頭琴交響楽団コンサート(予定)】

実施場所：板橋区立文化会館大ホール

実施日：12月15日(火)

費用：無料



「ゲル」の展示



民族衣装の展示

# モンゴル国とつながるかけ橋！協定締結30周年記念事業を実施

## モンゴル国と板橋区の交流の歩み



文化・教育交流協定締結



協定締結15周年  
モンゴルフェア2011



モンゴル国立馬頭琴交響楽団コンサート

- 1992年 再生紙のノート10万冊・区民からの協力で集めた鉛筆5万本を  
モンゴル国へ贈る
- 1996年10月19日 文化・教育交流協定締結
- 2001年 協定締結5周年  
モンゴル相撲イベント、モンゴル民族舞踏音楽コンサートを開催
- 2006年 協定締結10周年  
モンゴル国の写真展  
モンゴル国馬頭琴演奏家チンゲルト氏によるコンサートを開催
- 2011年 協定締結15周年  
モンゴルフェア2011を開催  
区民ツアーがモンゴル国を訪問（参加人数：20名）
- 2016年 協定締結20周年  
2017年 「モンゴル国立馬頭琴交響楽団 JAPAN TOUR 2016」を開催  
区民ツアーがモンゴル国を訪問（参加人数：26名）
- 2021年 協定締結25周年  
2022年 モンゴル国の文化等紹介イベント、モンゴル料理フェア、  
モンゴル国立馬頭琴交響楽団コンサートを開催
- 2026年 協定締結30周年

## 今後のスケジュール

10月13日(火)～23日(金)  
30周年記念イベント

12月15日(火)予定  
モンゴル国立馬頭琴交響楽団コン  
サート

## 主管課・問い合わせ先

文化・国際交流課

### 3. “創造都市いたばし”の推進！新たなステップへ

#### 「絵本のまち」が描く「創造都市」～イベントを通して育むあたたかでやさしいつながり～

板橋区は、令和8年7月18日～8月16日に、絵本の世界とデザインの魅力をまちに届ける、区最大級の体験型イベント「いたばし絵本とデザインフェスティバルー絵本とデザインの可能性を拓く夏の祭典ー」を区内全域で開催し、8月1日には「板橋区絵本・デザイン都市問題国際研究会議」において、国内外の有識者や専門家が、絵本とデザインに関する研究成果を共有し、都市が抱えるさまざまな課題の解決に向けて議論しました。

次の展開として、下半期には、板橋区の4大イベントである「板橋区民まつり」や「板橋農業まつり」、また“ものづくりの板橋”ならではの産業の祭典「いたばし産業見本市」、さらに、「いたばし夢企画」第2弾の開催により、“創造都市いたばし”をさらに盛り上げていきます。

#### 第55回板橋区民まつり～みんなにかけ橋 “創造都市いたばし”～

日時・場所：令和8年10月17日（土）・18日（日）の2日間／板橋区立グリーンホール前道路及び周辺

内容：「おまつりひろば」、「絵本のまちひろば」、「楽市楽座ひろば・文化のひろば」、「ふるさとひろば・みどりのひろば」、「SDGsひろば」等。

「いたばし絵本とデザインフェスティバル」のワークショップで子どもたちが制作した大型絵本の展示や「板橋ウィンメルブック」のお披露目。



詳細はこちら

#### 第30回いたばし産業見本市～つながり 広がる、未来にかけ橋～

日時・場所：令和8年11月5日（木）から7日（土）までの3日間／板橋区立植村記念加賀スポーツセンター

内容：ものづくり企業等の出会いの場であるビジネスデーと、ものづくりの楽しさを伝えるパブリックデーに分け、業界や世代を超えた交流から新しい発想が生まれる総合展示会を開催。



詳細はこちら

#### 第49回板橋農業まつり～新たな価値を創る 板橋の都市農業～

日時・場所：令和8年11月14日（土）・15日（日）／赤塚体育館通り周辺

内容：「野菜宝船」が登場するオープニングパレード、区内産農産物の直売、地域の方々による踊り・みこし・郷土芸能、交流自治体のご当地グルメ販売等。



詳細はこちら

#### 「いたばし夢企画」第2弾

日時・場所：＜演劇＞令和9年1月24日（日）予定／板橋区立高島平区民館ホール      ＜合唱＞令和9年2月6日（土）予定／板橋区立文化会館大ホール

内容：子どもたちの創造力を育む機会の創出をめざし、合唱・演劇が好きな小学校1年生から高校3年生までの子どもたちによる公演を開催。

【主管課・問い合わせ先】（創造都市いたばしの推進・いたばし夢企画について）創造都市デザイン課

（イベント）区民まつり：くらしと観光課    ／    産業見本市：産業振興課    ／    農業まつり：赤塚支所

# “創造都市いたばし”の推進！新たなステップへ

“創造都市いたばし” ユネスコ創造都市ネットワーク加盟に向けて



## 4. 令和8年度一般会計9月補正予算(案)

### 主な事業項目

計 96億6,300万円

- 創造都市推進に向けたアーカイブの制作事業【30,148千円】  
区の創造都市の取組をアーカイブ化し、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟審査に向けて、国内外への発信を行うための専用サイトを構築することなどにより、創造都市推進を加速します。
- 産業融資利子補給制度の拡充【54,350千円】  
急激な金利上昇による、区内事業者の資金繰り悪化の緩和のため、産業融資の一部の利子補給割合を10月から引き上げます。
- 子育て世帯に対する住環境整備に係る各種支援【12,636千円】  
子育て世帯の住環境を整備し、定住化を図るため今年度より開始した「子育て世帯住宅リフォーム支援」及び「多世代住み替え支援」の助成事業において、当初の想定を上回る申請が見込まれるため、申請枠を増やします。

※本補正予算案は、令和8年度第3回東京都板橋区議会に上程し、審議予定です。

#### 【主管課・問い合わせ先】

補正予算全般について  
財政課  
事業担当所管課の確認  
広聴広報課

### 創造都市推進に向けたアーカイブの制作事業

#### 【概要】

ユネスコ創造都市ネットワークの加盟に向け、創造都市の推進に関する取組等をアーカイブ化し、国内外へ向けて発信をするための専用サイトを構築する。日本語・英語の二言語で情報を発信することで、板橋区の文化的・創造的資源の魅力を国内外の人々に効果的に伝え、国際的な評価及び認知度向上につなげていく。

#### 【詳細】

創造都市推進に向けたアーカイブの制作事業 30,148千円

専用サイトは、創造都市の推進に関する取組等のアーカイブのほか、板橋区の概要や特徴、今後の取組の紹介など、過去・現在・未来における創造都市の推進に関する情報を、一環して発信するための構成とする。

#### <構成例>

- ① 概要ページ…「過去」に主眼を置いた創造都市の推進に関する情報等（区の概要や特徴、地域資源等）
- ② 取組ページ…「現在」に主眼を置いた創造都市の推進に関する取組等（取組の紹介等）
- ③ 構想ページ…「未来」に主眼を置いた創造都市の推進に関する取組や情報等（今後の取組の紹介等）

#### 【主管課・問い合わせ先】

創造都市デザイン課

# インフォメーション

## 板橋区・ブルーイノベーション(株)が都市型ドローン社会実装の「板橋モデル」構築へ ～包括連携協定を締結、「ITABASHI SKY LINK PROJECT」始動～

9月1日(火)、板橋区は、ブルーイノベーション(株)と、ドローンをはじめとする先端技術を活用した新産業の創出、地域経済の活性化、持続可能な都市型実証フィールドの構築等を目的とした包括連携協定を締結しました。ブルーイノベーション(株)は、板橋区内に研究・実証拠点を構え、「板橋ドローンフィールド」の運営に携わるほか、「板橋区産業振興構想2035 検討会」への参画や、区内の日本大学豊山女子中学校・高等学校における探究学習・ドローン活動への支援など、地域に根差した取組を進めています。今回の協定を契機に、双方の連携をより強化し、これまで個別に進めてきた取組を、防災、インフラ、産業振興、人材育成など幅広い分野へと発展させ、板橋区をフィールドとした都市型ドローン社会実装モデルの構築をめざします。

本協定は、災害時におけるドローン活用にとどまらず、平時からの実証・運用を通じて、防災、インフラ、物流などの地域課題の解決や、産業振興、人材育成につなげ、ドローンの継続的な社会実装をめざすものです。

両者は、本協定に基づく取組の総称として「ITABASHI SKY LINK PROJECT」を掲げ、板橋区内をフィールドに、ドローンの実証・検証から運用、社会実装までを段階的に推進していきます。



協定締結式の様子

主管課・問い合わせ先  
産業分野に関すること  
産業振興課

災害分野に関すること  
防災危機管理課



「ITABASHI SKY LINK PROJECT」将来構想イメージ

### ■「ITABASHI SKY LINK PROJECT」で4領域の社会実装を推進

主に次の4領域で具体的なユースケースの創出をめざします。

- ① 防災・安全：災害発生時の情報収集や被災状況の把握など、迅速な初動対応と安全・安心な地域づくりへの活用を検討します。
- ② インフラ・環境：河川、道路、橋梁等のインフラの点検・監視など、維持管理業務の高度化・効率化につながるドローン活用を検討します。
- ③ 物流・移動：物資輸送など、地域の暮らしを支える新たな物流手段としてのドローン活用の可能性を検証します。
- ④ 産業・人材：区内企業、スタートアップ、研究機関等との連携を通じた新たな技術・サービスの創出と、将来のドローン社会を支える人材の育成を進めます。